

現場説明書

- 1 工事名 有馬線導水管電気防食工事
2 監督員 技術部浄水課

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の上下水道局契約規程によりその例によることとされている契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 契約の保証について

契約の保証 要 不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
- (2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
- (3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、横須賀市上下水道事業管理者が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書
- (4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
- (5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

3. 前払金について

前払金 する ~~しない~~

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

4. 中間前払金について

中間前払金 する ~~しない~~

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

5. 部分払について

部分払 する(一回以内) しない

6. ~~継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について~~

- ~~(1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。~~

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度(年度)	—%	支払限度額・請負代金額の—%
第2年度(年度)	—%	支払限度額・請負代金額の—%
第3年度(年度)	—%	支払限度額・請負代金額の—%

- ~~(2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。~~

7. 契約に関する事項について

(1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

- ア 請負代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要
- イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要
- ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
 - ・ 施工体制台帳
 - ・ 施工体系図
 - ・ 再下請負通知書 (再下請負の発注がある場合)
- カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

- ア 支 給 材 料 あり なし
- イ 貸 与 品 あり なし

(5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

- 部分引渡し指定部分 あり なし

(8) 火災保険等の関係

- 火災保険その他の保険の付保条件 あり なし

8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、[横須賀市ホームページ](#) > [入札の広場](#) > [工事](#) > [入札制度関連情報<工事>](#) において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

9. コリンスの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合は、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評定において考慮される事となる。

11. 施工計画書の提出について

(1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

- ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事
- イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事
- ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

(2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

(3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

(4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

- (1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

- (2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

14. 下請負者について

- (1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。
- (2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

16. 技術的事項について（別紙）

有馬線導水管電気防食工事特記仕様書

本工事の仕様は、当局水道工事共通仕様書（平成 28 年 10 月）に定められたもののほか、当特記仕様書によるものとする。なお、共通仕様書内の付編Ⅱ及び付編Ⅲについては、水道工事共通仕様書 付編書式（平成 29 年 12 月）を参照すること。

1 工事コストの表示について

- (1) 工事請負額 1,000 万円以上の工事を対象とする。
- (2) 工事請負額の表示は、工事現場に設置する「工事看板」に表示する。
- (3) 表示金額は、万円単位など分かりやすい単位とする。

2 数値基準、単価世代及び積算参考資料について

数値基準、単価世代及び積算参考資料については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「【重要】水道工事の数値基準等について」を参照すること。

3 共通単価について

共通単価については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「共通単価一覧表」（設計書摘要欄に記載のあるコード番号が A、B、K、L、N、P、R から始まるもの）を参照すること。

4 施工パッケージ型積算について

- (1) ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額で計上している。
- (2) 単価表摘要欄に「積算単価計上なし」と記載されている場合は積算単価を 0 円としている。
- (3) 表層工などの一位代価表の〈条件区分〉の[材料]、[〇〇規格]に記載している材料は、東京単価を算出するための代表材料を記載している。
※材料の積算単価は、一位代価表の規格欄・摘要欄に記載した材料である。
- (4) 施工パッケージ型積算方式による一位代価表の積算注意事項は、局ホームページの「施工パッケージ型積算方式による積算」を参照すること。

5 個人情報資料の借用について

工事に必要な個人情報に関する資料の借用にあたっては、以下の内容を明記した借用願い（様式あり）を担当課長あてに提出すること。

- (1) 借用期間
- (2) 借用する個人情報資料の項目
- (3) 個人情報の管理に関する責任者、個人情報を取り扱う工事従事者
- (4) 貸出条件(取り扱いにあたる注意事項等)
- (5) その他監督員が必要とする事項

6 工事に関することについて

舗装取りこわし工等を除き試掘調査及び既設埋設物の近隣掘削については、安全施工の観点から人力施工とする。ただし状況により機械施工を行う場合は監督員と事前協議すること。

7 舗装版切断時に発生する濁水の処理について

(1) 処理方法

舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(2) 条件

請負者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

また、請負者が、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(3) 提出書類等

請負者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、請負者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。

また、請負者が濁水の収集運搬を委託した場合は、請負者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

なお、請負者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

8 受電部分について

(1) 工事対象

ア 新規受電柱（1か所）

(2) 工事内容

ア 受電柱の設置を行う。（新規取引用電力計用の設置は別途電力会社が行う。）

イ 新規取引電力量計から漏電遮断器を介し、直流電源装置までの配線を行う。

9 通電電極設置部分について

(1) 工事対象

ア 新規通電電極（1か所）

(2) 工事内容

ア ボーリング作業及び新規通電電極の設置

イ 電極井φ150×150.0mを設置する。

ウ 電極井設置に伴うボーリング径はφ250とする

エ 電極井には鋼管ケーシングφ150×99.0mと塩化ビニル製無孔ケーシングφ150×50.7mを挿入する。

オ ケーシング内は、通電電極を所定の深さに設置し、バックフィルを充填する。

カ 詳細は設計図による。

10 ネットフェンス設置について

(1) 工事対象

ア ネットフェンス設置（1か所）

(2) 工事内容

ア 既設ネットフェンスを撤去し、開閉可能なネットフェンスを設置する。

イ 寸法はH=1800、W=4000とし、詳細は監督員と協議し承諾を得ること。

11 建設副産物実態調査の作業手順（元請業者が行う）について

別途添付の「建設副産物実態調査に係る特記仕様書」を参照とする。

12 基準書等の適用及び設計諸条件に係る事項について

(1) 「電気防食設備設置工事（電気）」を積算している基準書及び設計諸条件

ア 設計構成、諸経費率、歩掛等は2016年度版の「下水道用設計積算要領ーポンプ場、処理場施設（機械・電気設備）編一」（発行元：公益社団法人日本下水道協会）によるが、これによりがたい場合は、別途積算基準を用いる。

イ 別途積算基準を用いた場合は、設置歩掛のみを採用し、諸経費率、補正率、撤去歩掛は、「下水道用設計積算要領ーポンプ場、処理場施設（機械・電気設備）編一」による。

ウ 共通仮設費の中で率により算出した費用及び現場管理費の合計額は千円止めとし、それ以外は、円止めとする。

エ 設計書摘要欄に横須賀市上下水道局一位代価表（施工単価）・共通単価当の記載があった場合は、上下水道局ホームページ内、「請負工事に関する情報」→「上水道」→「水道工事積算単価関係」を参照されたい。

オ 本設計書における単価世代は、2020年10月1日世代とする。

カ 本資料に記載する数量は参考であるため、入札者は独自に積算し入札すること。

キ 前払金負担割合は、40%とする。

ク 契約保証に係る一般管理費等の補正率は、0.04%とし金銭的保証とする。

(2) 「電気防食設備設置工事（土木）」を積算している基準書及び設計諸条件

ア 水道事業実務必携 令和2年度版

イ 土木工事標準積算基準書（土木工事編） 令和2年8月1日版

ウ 土木工事標準積算基準書（電気・機械編） 令和2年8月1日版

エ 積算参考資料（土木工事編） 令和2年8月1日版

オ 建設機械等損料表 令和2年度版

カ 本設計書における単価世代は、2020年10月1日世代とする。

キ 単価採用については、厚木地区とする。

ク 諸経費の工種は、開削工事及び小口径推進工事とする。

ケ 施行地域の補正は、「なし」とする。

コ 前払金負担割合は、40%とする。

サ 契約保証に係る一般管理費等の補正率は、0.04%とし金銭的保証とする。

シ 処分費控除は、なしとする。

13 市場単価及び標準単価の端数処理について

市場単価及び標準単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。

なお、単価補正が行われた場合の単価についても円止め（小数点以下切り捨て）として計算し、数量×単価＝金額を算出している。

14 しゅん工検査時に必要な書類について

しゅん工検査時は「管路工事しゅん工図書等提出物一覧表で指定している図書」及び、「工事履行報告書」を作成し、提出すること。なお、「工事履行報告書」は請負金額500万円以上の場合のみ提出すること。

1) 管路工事しゅん工図書等提出物一覧表

横須賀上下水道局 水道工事共通仕様書 平成28年10月の別冊

2) 工事履行報告書

横須賀市ホームページ>市政情報>入札・契約・検査>検査情報>土木工事関係書類一覧表

15 法定外の労災保険について

本工事の現場管理費には、法定外の労災保険の経費を含んでいるので、その写しを提出すること。

16 提出書類

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (1) 完成図書 | ・・・ A4版（金文字黒表紙製本）2部 |
| | ・・・ A4版（ファイル）1部 |
| (2) 写真帳 | ・・・ A4版（ファイル）2部 |
| (3) 東京電蝕防止対策委員会用報告書 | ・・・ A4版（ファイル）1部 |
| (4) 上記の電子データ | ・・・ 記録媒体CD-R 1部 |

17 その他

上記の内容について疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

建設副産物実態調査に係る特記仕様書

- 1 元請業者は、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事（調査対象となる建設資材の利用及び建設副産物の発生・搬出がない工事は除く）は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」で定められた「再生資源利用 {促進} 計画書（実施書）の作成」を兼ねるものとする。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備 考
搬入する建設資材	コンクリート	生コンクリート、コンクリート二次製品（有筋、無筋）など
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	山砂、建設発生土、土質改良土、建設汚泥処理土、再生コンクリート（RC-10）など
	砕石	鉦さい、クラッシャーラン、ぐり石など
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト（飛散性）	
	その他の分別された廃棄物	
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土（建設汚泥を除く）		

2 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ<http://www.recycle.jacic.or.jp/>から建設副産物情報交換システムにログインする。
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）
- (3) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画)」を印刷し、監督員に提出する。
- (4) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。
- (5) 各種書類の印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
- (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(実施)」を印刷し、監督員に提出する。
- (7) 建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、再生資源利用(促進)計画書、再生資源利用(促進)実施書および建設リサイクル法に基づく再資源化報告書は監督員に提出されたものとみなす。

3 データ入力上の留意点

(1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出（一種発生土～浚渫土）には、「地山m³」で入力し、建設資材利用（土砂）には、「締めm³」（表2、土量の変化率Cを考慮）で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100 m³

埋戻し 20 m³ (締めm³) …… 「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。

22 m³ (地山m³) …… 「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。

20 m³ / 変化率C (仮に0.9とする) = 22 m³

処分 78 m³ (地山m³) …… 「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

$$100 \text{ m}^3 - 22 \text{ m}^3 = 78 \text{ m}^3$$

(2) 建設資材利用について

ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。

- ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県建設リサイクル資材認定資材一覧表（以下、認定一覧表という）を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目(建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
土砂(建設汚泥処理土)	再生改良土
	再生流動性埋戻材
アスファルト・コンクリート	再生加熱アスファルト混合物
砕石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック (平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木材	再生木質ボード
	再生集成材・合板
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。

ウ RC-10（再生砂）を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材 A・B、建設汚泥、建設発生土（第一種～第四種建設発生土及び浚渫土））について

ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を神奈川県コンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を5 工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)」と選択する。

施工条件明示事項

工事名 有馬線導水管電気防食工事

1. 当該工事の施工条件明示事項欄の、下記表□内黒塗り部分が作業に当って、特に制約を受けることになるので明示する。
又、明示されていない事項で請負者が、施工条件に該当すると思われる場合には、その都度監督員と協議すること。
2. 明示事項内容及び参考欄の内、参考と記載している箇所は見積り参考数値で、作業制約条件ではない。

明示項目	明 示 事 項	明示事項内容及び参考								
■ 工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響									
	<input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限 (準備工期の設定等)									
	<input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立									
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響	1) 交通管理者協議により、作業時間の制約があった場合は厳守すること。								
	<input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間									
	<input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数									
□ 用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分									
	<input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場の民有地等の借地									
	<input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用									
	<input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容									
■ (公害・排水等) 周辺環境関係	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	1) 設計図書に示すとおり、排ガス対策型機械等を使用すること。								
	<input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設									
	<input checked="" type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策	1) 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。								
	<input type="checkbox"/> 事業損失防止関係									
■ 安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定	1) 現場調査を実施し、安全施設計画図を監督員に提出すること。 2) 関係機関との協議により安全施設計画図に変更が生じた場合、監督員と別途協議する。								
	<input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限									
	<input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設									
	<input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	1) 交通誘導警備員 地元又は道路管理者等との調整により、配置体制に変更が生じた場合には、監督員と協議する。 ① 主な工種の配置体制 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="2">配置人員(人/日)</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極設置工</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> A:交通誘導警備員A B:交通誘導警備員B ② 交通誘導警備員の資格 交通誘導警備員全て警備業法による警備員とすること。 2) 参考【見積り参考として、交通誘導警備員は延べ 32人を見込んでいる。】	工 種	配置人員(人/日)		A	B	電極設置工	—	2
	工 種	配置人員(人/日)								
A		B								
電極設置工	—	2								
<input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策										

明示項目	明示事項	明示事項内容及び参考
□ 工道 事路 用関 係	<input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	
	<input type="checkbox"/> 搬入路の使用後及び使用後の処置	
	<input type="checkbox"/> 仮設道路の設置	
	<input type="checkbox"/> 一般道路の占用	
□ 仮設 備関 係	<input type="checkbox"/> 仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用若しくは兼用	
	<input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定	
	<input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定	
■ 建設 副産 物関 係	<input type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件	
	■ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化	1) 発生土 現場で発生した土砂については、現場内再利用するものとする。 2) その他についても設計図書に基づき、再生資材を使用する。 なお、使用に際し品質が適正なものであるか確認するものとする。
	<input type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理	
□ 薬入 液関 注係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工	
	<input type="checkbox"/> 周辺環境への調査	
□ 工事 物件 支障 等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	<input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	
■ その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き	
	■ 工事現場発生品	1) 設計図書に基づき、適切な処分を行うこと。 なお、配管残材及び撤去管等は処分先の受入書等の写しを監督員に提出すること。
	<input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等	
	<input type="checkbox"/> 架設工法の指定	
	<input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定	
	<input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定	
	<input type="checkbox"/> 部分使用	
	<input type="checkbox"/> 給水の必要	
	<input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書	
■ その他	1) 技術労務費は、電工9人、普通作業員1人を見込んでいます。 2) 一般労務費は、電気通信技術員1人を見込んでいます。	

有馬線導水管電気防食工事 工事設計書

横須賀市上下水道局

総括表

2020年度	工事番号	
工事名	有馬線導水管電気防食工事	
ブロック番号	工事場所	海老名市中河内1767番地先ほか3か所
予算科目		
工 事 概 要	<p>本工事は、有馬線導水管路に対し外面腐食対策として外部電源方式等による電気防食設備を設置するもので、工事概要は下記のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p style="text-align: center;">電気防食設備設置工事 1式</p> <hr/> <p>工期 自令和 年 月 日 至令和 年 月 日</p>	
工事施行方法	請 負	工事日数 150日

横須賀市上下水道局

設計基本情報

設計情報

設計書番号	013100276
設計種別	当初設計
工事番号	
工事名	有馬線導水管電気防食工事
ブロック番号	

諸経費情報

単価世代	2020年 10月 1日
諸経費の工種	開削工事及び小口径推進工事
施工地域補正	なし
前払金支出割合	40%
契約保証費	0.04% 金銭的保証
処分費控除	なし
週休2日補正	なし

横須賀市上下水道局

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
電気防食設備設置工事（電気）				式	1			/A
請負工事費								/H
機器費								/I
		機器費		式	1			第 1 号内訳書参照 0U001
機器費 計								++I
直接工事費								/H
工事費								/H
		輸送費		式	1			第 2 号内訳書参照 0U002
		材料費		式	1			第 3 号内訳書参照 0U003
		技術労務費		式	1			第 4 号内訳書参照 0U004
		一般労務費		式	1			第 5 号内訳書参照 0U005

P-1

付属 1

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		複合工費		式	1			第 6 号内訳書参照 0U006
		直接経費（機械器具損料）		式	1			%13Y1
		仮設費		式	1			%13Y8
工事費 計								+3
直接工事費 計								++P
間接工事費								/H
		共通仮設費						（しゅん工CAD図面含む） /H
		共通仮設費		式	1			!28Kr
共通仮設費 計								+3K
純工事費								++J
		現場管理費		式	1			!28Jo

P-2

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		現場管理費 計						+3
		据付間接費						/H
		据付（技術者）間接費		式	1			128Z1
		据付（機器）間接費		式	1			128Z2
		据付間接費 計						+3
		据付工事原価						++E
		設計技術費						/H
		設計技術費		式	1			128Gk
		設計技術費 計						+3
		工事原価						++C
		一般管理費等						/H

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		一般管理費		式	1			128Cp
電気防食設備設置工事（電気） 価格		工事						++T

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
電気防食設備設置工事 (土木)				式	1			/A
請負工事費								/H
直接工事費								/H
工事費								/H
		直流電源装置設置工		式	1			第 7 号内訳書参照 0U101
		通電電極設置工		式	1			第 8 号内訳書参照 0U102
		電線布設工		式	1			第 9 号内訳書参照 0U103
		電極設置工	ターミナル設置含む	式	1			第 10 号内訳書参照 0U104
		路面復旧工		式	1			第 11 号内訳書参照 0U105
		交通管理工		式	1			第 12 号内訳書参照 0U111
		工事費 計						+3

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
直接工事費 計								++P
間接工事費								/H
共通仮設費								(しゅん工CAD図面含む) /H
		共通仮設費		式	1			%07Kr
共通仮設費 計								+3K
純工事費								++J
		現場管理費		式	1			%07Jo
工事原価								++G
一般管理費等								/H
		一般管理費等		式	1			%07Gp
一般管理費等 計								+3

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
電気防食設備設置工事（土木） 工事価格		工事						++T
工事価格 合計								++A
消費税等相当額				式	1			%S10
請負工事費 合計								++U

第 1 号内訳書 機器費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
直流電源装置	DC60V-40A 单相200V S U S 製	面	1			局独自 Y0001
計						

P-8

第 2 号内訳書 輸送費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
輸送費		式	1			局独自 Y0012
計						

P-9

第 3 号 内訳書 材料費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
低圧ケーブル		式	1			第 1 号一位代価表参照 Z0001-B00
その他電線		式	1			第 2 号一位代価表参照 Z0002-B00
ケーブル, 電線類付属材料		式	1			#00
電線管類		式	1			第 3 号一位代価表参照 Z0003-B00
接地器具		式	1			第 4 号一位代価表参照 Z0004-B00
鋼管ポール	6.3m(ボックス付属品含む)	本	1			局独自 Y0010
漏電遮断器	3P60AT 中性線欠相保護付	個	1			局独自 Y0011
補助材料費		式	1			#00
計						

P-10

第 4 号 内訳書 技術労務費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0090
普通作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
計						

P-11

第 5 号 内訳書 一般労務費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電気通信技術者		人				県単価・2020/10/01・労務2 CR0480
計						

P-12

第 6 号 内訳書 複合工費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
通電電極設置工	材工共 MMO電極8本 PVDF14mm2-1心含む	式	1			局独自 Y0013
流電陽極設置工	材工共 マグネシウム合金陽極25本	式	1			局独自 Y0014
照合電極設置工	材工共 マグネシウム合金陽極4本	式	1			局独自 Y0015
ターミナル設置工	材工共 ターミナル3本	式	1			局独自 Y0016
計						

P-13

第 7 号 内訳書 直流電源装置設置工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	0.6			第 5 号一位代価表参照 DW399-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	RC-40 山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	0.5			第 6 号一位代価表参照 DW411-J01
一般型枠工	鉄筋・無筋構造物	m2	2			第 7 号一位代価表参照 DP020104-J01
コンクリート工(18-8-25 (20) W/C指定無し)	無筋・鉄筋構造物 一般養生 小型車	m3	0.4			第 8 号一位代価表参照 DP020102-J01*
ネットフェンス設置工	開閉式L=4000 材料費、基礎含む H=1800 金網φ3.2	式	1			局独自 Y0301
ネットフェンス処理料	処分費の対象	式	1			局独自 Y0302
計						

P-14

第 8 号 内訳書 通電電極設置工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	0.6			第 5 号一位代価表参照 DW399-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	0.6			発生土 第 9 号一位代価表参照 DW411-J02
仮設工		箇所	1			局独自 Y0106
ボーリング工	φ250 150m 消耗材含む	箇所	1			局独自 Y0107
ケーシング設置工		式	1			第 10 号一位代価表参照 Z0101-B00
砂利充填工		式	1			第 11 号一位代価表参照 Z0102-B00
バックフィル充填工		式	1			第 12 号一位代価表参照 Z0103-B00
電極ボックス設置工		式	1			第 13 号一位代価表参照 Z0104-B00
計						

P-15

第 9 号内訳書 電線布設工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	3.9			第 5 号一位代価表参照 DW399-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	3.9			発生土 第 9 号一位代価表参照 DW411-J02
受電柱設置工	損料含む	箇所	1			局独自 Y0111
管明示シート工		m	26			第 14 号一位代価表参照 DW02F-J01
明示シート(鉄管類)	幅40cm 上下水道局に連絡して下さい印字	m	26			局独自 A1518
計						

P-16

第 10 号内訳書 電極設置工

ターミナル設置含む

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超え10cm以下 山積0.08m3(平積0.06m3)	m2	38			第 15 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D区間有り 運搬距離7.2km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.08m3	m3	1.9			第 16 号一位代価表参照 DW4211-J01
廃材処理料(北部地区)	A S殻 処分費の対象	m3	1.9			県単価・2020/10/01・105 CZ0200-020
小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	7.5			路盤 第 5 号一位代価表参照 DW399-J01
発生土運搬費	D I D区間無し 運搬距離1.8km 良好 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.08m3	m3	5.4			場内仮置き 第 17 号一位代価表参照 DW421-J02
小型バックホウ掘削積込	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	28.7			発生土 第 5 号一位代価表参照 DW399-J01
管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)	山積0.08m3(平積0.06m3)	m3	27.8			発生土 第 9 号一位代価表参照 DW411-J02
上層路盤工(施工幅1.8m未満)	全仕上り厚20cm 転圧回数2層 RC-40	m2	38			第 18 号一位代価表参照 DW431-J01
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物(13)	m2	38			仮復旧 第 19 号一位代価表参照 Z0111-B00
管明示シート工		m	62			第 14 号一位代価表参照 DW02F-J01
明示シート(鉄管類)	幅40cm 上下水道局に連絡して下さい印字	m	62			局独自 A1518

P-17

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕切弁きょう取付工		箇所	1			ターミナルボックス 第 20 号一位代価表参照 F0557-B00
仕切弁きょう	短	個	1			ターミナルボックス 局独自 A1841
仕切弁きょう鉄蓋	表示プレート対応型	個	1			ターミナルボックス 局独自 A1842
仕切弁きょう取付取外工	(きょう再利用) 補正係数1.6	箇所	2			ターミナルボックス 第 21 号一位代価表参照 F0561-B00
計						

第 11 号 内訳書 路面復旧工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
As舗装版切断工	As舗装厚15cm以下	m	213			第 22 号一位代価表参照 DP040036-J01
アスファルト舗装版切断濁水処理工	ダンプトラック 2 t 積級 運搬2回	式	1			第 23 号一位代価表参照 D332A1-J01*
小型バックホによる舗装版直接掘削・積込工	舗装厚0cmを超え10cm以下 山積0.08m3(平積0.06m3)	m2	264			第 15 号一位代価表参照 DW4301-J01
As塊運搬費	D I D区間有り 運搬距離7.2km 良好 ダンプトラック 2 t 積 バックホ山積0.08m3	m3	13.2			第 16 号一位代価表参照 DW4211-J01
廃材処理料 (北部地区)	A S 殻 処分費の対象	m3	13.2			県単価・2020/10/01・105 CZ0200-020
不陸整正工 (施工幅1.8m未満)	路盤材整正厚3cm	m2	261			第 24 号一位代価表参照 DW432-J01
舗装工 (人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車 再生密粒度AS混合物 (13)	m3	261			第 25 号一位代価表参照 Z0112-B00
計						

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人日				県単価・2020/10/01・労務2 R0011-001
計						

第 1 号 一位代価表 低圧ケーブル

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
低圧ケーブル	600V EM-CE 14mm ² -1心	m	69.7			局独自 Y0002
低圧ケーブル	600V EM-CE 8mm ² -1心	m	99.9			局独自 Y0003
低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5mm ² -3心	m	35.5			局独自 Y0004
低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5mm ² -1心	m	9.35			局独自 Y0005
計	1 式 当り					

P-21

第 2 号 一位代価表 その他電線

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電線	600V EM-IE 5.5mm ² -1心	m	1.21			局独自 Y0006
計	1 式 当り					

P-22

第 3 号 一位代価表 電線管類

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
波付硬質ポリエチレン管	FEP30mm	m	129			局独自 Y0017
ベルマウス	FEP用φ30	個	1			局独自 Y0007
計	1式 当り					

第 4 号 一位代価表 接地器具

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
設置棒	φ14×1,500	本	2			局独自 Y0008
設置棒用リード端子	φ14用	本	2			局独自 Y0009
計	1式 当り					

第 5 号 一位代価表 小型バックホウ掘削積込

山積0.08m3(平積0.06m3)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 26 号一位代価表参照 J1154-J01
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m3当り					#90

DW399

[バックホウの規格]=山積0.08m3(平積0.06m3), [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 6 号 一位代価表 管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)

RC-40

山積0.08m3(平積0.06m3)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導 県単価・2020/10/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務 県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
普通作業員		人				締固め補助 県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 26 号一位代価表参照 J1154-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 27 号一位代価表参照 J3952-J01
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木地区	m3	127			局独自 Y0201
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m3当り					#90

DW411

[バックホウの規格]=山積0.08m3(平積0.06m3), [埋戻材料費(m3)]=Y0201;数量=127, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 7 号 一位代価表 一般型枠工

鉄筋・無筋構造物

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	100			/H
型わく工		%	47.51			県単価・2020/10/01・労務1 CR0320
普通作業員		%	24.83			県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	8.97			県単価・2020/10/01・労務1 CR0240
	1 m2 当り					

DP020104
<条件区分>
[型枠の種類]=一般型枠, [構造物の種類]=鉄筋・無筋構造物

第 8 号 一位代価表 コンクリート工(18-8-25 (20) W/C指定無し)

無筋・鉄筋構造物 一般養生 小型車

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	31.87			/H
普通作業員		%	15.01			県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
特殊作業員		%	8.45			県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	6.19			県単価・2020/10/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	68.13			/H
生コンクリート (早強)	18-8-25 (20) W/C指定無し 小型車	%	68.13			局独自 Y0204
	1 m3 当り					

DP020102
<条件区分>
[構造物種別]=無筋・鉄筋構造物, [打設工法]=人力打設, [コンクリート規格]=24-12-25 (20) (高炉), [養生工の種類]=一般養生, [現場内小運搬の有無]=無し
[小型車割増の有無]=有り

第 9 号 一位代価表 管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)

山積0.08m3(平積0.06m3)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導 県単価・2020/10/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務 県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
普通作業員		人				締固め補助 県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クラ型)運転	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 28 号一位代価表参照 J1154-J02
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 29 号一位代価表参照 J3952-J03
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m3当り					#90

DW411

[バックホウの規格]=山積0.08m3(平積0.06m3), [埋戻材料費(m3)]=計上しない, [公害対策機種]='基準書指定'

P-29

Z0101-B00

第 10 号 一位代価表 ケーシング設置工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ケーシング設置工	雑材含む	箇所	1			局独自 Y0108
SGPケーシング	φ150mm×5.5m	本	18			局独自 Y0101
VPケーシング	φ150mm×4.0m	本	13			局独自 Y0102
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1式 当り					

P-30

第 11 号 一位代価表 砂利充填工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂利充填工	消耗材含む	箇所	1			局独自 Y0109
玉砂利		m ³	3.3			局独自 Y0104
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1式 当り					

第 12 号 一位代価表 バックフィル充填工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
バックフィル充填工	消耗材含む	箇所	1			局独自 Y0110
バックフィル		袋	138			局独自 Y0103
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1式 当り					

第 13 号 一位代価表 電極ボックス設置工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電極ボックス設置工	損料含む	箇所	1			局独自 Y0112
電極ボックス	φ 600	個	1			局独自 Y0105
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1式 当り					

P-33

第 14 号 一位代価表 管明示シート工

(実務必携 P. 63)

DW02F-J01

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW02F

[公害対策機種]=基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-34

第 15 号 一位代価表 小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込工

舗装厚0cmを超え10cm以下
山積0.08m3(平積0.06m3)

(実務必携 P.163)

DW4301-J01

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
小型バックホウ(クロー型)運転	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 30 号一位代価表参照 J1154-J03
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m2当り					#90

DW4301

[舗装厚]=0cmを超え10cm以下, [バックホウの規格]=山積0.08m3(平積0.06m3), [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-35

第 16 号 一位代価表 As塊運搬費

D I D 区間有り 運搬距離7.2km 良好
ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.08m3

(実務必携 P.172, 173)

DW4211-J01

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	ワロード・ティール 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 31 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m3当り					#90

DW4211

[運搬機種・積込機種]=ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.08m3, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=7.2, [処理対象]=As塊, [公害対策機種]='基準書指定'
[低騒音機種]=基準書指定, [路面状態]=良好

P-36

第 17 号 一位代価表 発生土運搬費

D I D 区間無し 運搬距離1.8km 良好
 ガンプトラック2 t 積 ハック材山積0.08m3

(実務必携 P.172)

DW421-J02

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガンプトラック運転	ワンロード・ティール 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 31 号一位代価表参照 J1601-J01
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m3当り					#90

DW421

[運搬機種・積込機種]=ガンプトラック2 t 積 ハック材山積0.08m3, [D I D 区間]=無し, [運搬距離(km)]=1.8, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定
 [路面状態]=良好

P-37

第 18 号 一位代価表 上層路盤工 (施工幅1.8m未満)

全仕上り厚20cm 転圧回数2層
 RC-40

(実務必携 P.165, 166)

DW431-J01

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木地区	m3	25.4			局独自 100*0.2*(1+0.27) Y0201
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 32 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m2当り					#90

DW431

[路盤種別]=上層路盤, [全仕上り厚(cm)]=20, [施工幅]=1.8m未満, [路盤材(m3)]=Y0201, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-38

第 19 号 一位代価表 舗装工 (人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車
再生密粒度AS混合物 (13)

Z0111-B00

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役 (一般)		人	0.4			1 県単価・2020/10/01・労務1 R0001
特殊作業員		人	0.8			1 県単価・2020/10/01・労務1 R0004
普通作業員		人	1.6			1 県単価・2020/10/01・労務1 R0008
再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物 (13) 厚木地区	t	12.573			局独自 Y0202
小型車割増 (As)	厚木地区	t	12.573			局独自 Y0203
振動ローラ (舗装用) 運転	ハットカイド式 運転質量0.5~0.6t	日	0.4			1 第 33 号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 機械質量40~60kg	日	0.8			1 第 34 号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費 (有効4桁以内調整)		%	17			(1) #09
計						#90
	1 m2 当り					#90

P-39

第 20 号 一位代価表 仕切弁きょう取付工

F0557-B00

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕切弁きょう取付整備工	(底版使用)	箇所	1			第 35 号一位代価表参照 F0559-B00
VU直管 (硬質ポリ塩化ビニル管)	φ200*0.1~1m JIS K 6741	本	1			局独自 A0735
仕切弁きょう台座	再生プラスチック 600*45	個	1			局独自 A1851
弁きょう表示プレート	プラスチック製	個	2			局独自 A1857
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1 箇所 当り					

P-40

第 21 号 一位代価表 仕切弁きょう取付取外工

(きょう再利用)
補正係数1.6

F0561-B00

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕切弁きょう取付整備工	(底版使用)	箇所	1			第 35 号一位代価表参照 F0561-B00
計						#91
	補正係数					#91
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1 箇所 当り					

P-41

第 22 号 一位代価表 As舗装版切断工

As舗装厚15cm以下

※施工パッケージ単価
(IV-3-③-2) DP040036-J01

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	6.29			/H
コンクリートカッタ	パキューム式・湿式 切削深20cm級 径φ56cm	%	4.25			11-61-211-020-001 H02750T
労務構成比		%	54.24			/H
特殊作業員		%	18.9			県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	9.56			県単価・2020/10/01・労務1 CR0240
普通作業員		%	8.2			県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
材料構成比		%	39.47			/H
コンクリートカッタ (ブレード)	径22インチ	%	36.63			県単価・2020/10/01・111 CM0019
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	%	1.92			県単価・2020/10/01・104 CT6910
	1 m 当り					

P-42

DP040036
 <条件区分>
 [舗装版種別]=アスファルト舗装版, [アスファルト舗装版厚]=15cm以下

第 23 号 一位代価表 アスファルト舗装版切断濁水処理工 ダンプトラック 2 t 積級 運搬2回 1 式 当り

D332A1-J01*

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水運搬費	ダンプトラック 2 t 積級	回	2			県単価・2020/10/01・105 CZ0500
舗装版切断濁水処分費 (北部地区)	アスファルト舗装版 処分費の対象	m3	0.246			県単価・2020/10/01・105 CZ0400-020
計	1 式 当り					

第 24 号 一位代価表 不陸整正工 (施工幅1.8m未満)

路盤材整正厚3cm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木地区	m3	3.81			局独自 100*0.03*(1+0.27) Y0201
タンバ運転	質量60~80kg	日				第 32 号一位代価表参照 J3962-J02
諸雑費		式	1			#99
計						#90
	1 m2当り					#90

DW432

【路盤材整正厚(cm)]=3, 【施工幅]=1.8m未満, 【補足材(m3)]=Y0201, 【公害対策機種]='基準書指定', 【低騒音機種]=基準書指定

P-45

Z0112-B00

第 25 号 一位代価表 舗装工 (人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 小型車
再生密粒度AS混合物 (13)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役 (一般)		人	0.4			県単価・2020/10/01・労務1 R0001
特殊作業員		人	0.8			県単価・2020/10/01・労務1 R0004
普通作業員		人	1.6			県単価・2020/10/01・労務1 R0008
再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物 (13) 厚木地区	t	12.573			局独自 Y0202
小型車割増 (As)	厚木地区	t	12.573			局独自 Y0203
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L	126			県単価・2020/10/01・64 CT2209
振動ローラ(舗装用)運転	バッドガバ式 運転質量0.5~0.6t	日	0.4			第 33 号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 機械質量40~60kg	日	0.8			第 34 号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費 (有効4桁以内調整)		%	17			(1) #09
計						#90
	1 m2当り					#90

P-46

第 26 号 一位代価表 小型ハックホ(クローラ型)運転

標準型 山積0.08/平積0.06m3
排出ガス対策型(第1次基準値)

J1154-J01

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
軽油	1. 2号 バトロール給油	L	18			県単価・2020/10/01・104 CT6912
小型ハックホ(クローラ型)	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				02-01-112-006-001 H11540T
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機一23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=18, [損料数量]=1.78, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-47

第 27 号 一位代価表 タンバ運転

質量60~80kg

J3952-J01

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2020/10/01・104 CT6910
タンバ及びランマ(ランマ)賃料	質量60~80kg	供用日				県単価・2020/10/01・125 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機一31, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [賃料数量]=1.38, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

P-48

第 28 号 一位代価表 小型ハック材(クローラ型)運転

標準型 山積0.08/平積0.06m3
排出ガス対策型(第1次基準値)

J1154-J02

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
軽油	1. 2号 バトロール給油	L	18			県単価・2020/10/01・104 CT6912
小型ハック材(クローラ型)	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				02-01-112-006-001 H11540T
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機一23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=18, [損料数量]=1.78, [公害対策機種]='基準書指定'

P-49

第 29 号 一位代価表 タンバ運転

質量60~80kg

J3952-J03

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2020/10/01・104 CT6910
タンバ及びランマ(ランマ)賃料	質量60~80kg	供用日				県単価・2020/10/01・125 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機一31, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [賃料数量]=1.38, [公害対策機種]='基準書指定'

P-50

第 30 号 一位代価表 小型ハックホ(クロー型)運転

標準型 山積0.08/平積0.06m3
排出ガス対策型(第1次基準値)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
軽油	1, 2号 パトロール給油	L	18			県単価・2020/10/01・104 CT6912
小型ハックホ(クロー型)	標準型 山積0.08/平積0.06m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				02-01-112-006-001 H11540T
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機-23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=18, [損料数量]=1.8, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 31 号 一位代価表 ダンプトラック運転

オンロード・ディーゼル 2t積級
タイヤ損耗(良好)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(一般)		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0150
軽油	1, 2号 パトロール給油	L	22			県単価・2020/10/01・104 CT6912
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	供用日				03-01-011-020-001 H16010T
タイヤ損耗費	2~3t 良好	供用日				建設機械等損料表37 H82010T
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機-22, [労務数量]=1, [燃料消費量]=22, [損料数量]=1.29, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定, [路面状態]=良好

第 32 号 一位代価表 タンパ運転

質量60~80kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
ガンリン	レギュラー スタンド渡し	L	4			県単価・2020/10/01・104 CT6910
タンパ及びドラム(テマ)賃料	質量60~80kg	供用日				県単価・2020/10/01・125 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機-31, [労務数量]=1, [燃料消費量]=4, [賃料数量]=1.61, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 33 号 一位代価表 振動ロー(舗装用)運転

ハンドガイト式 運転質量0.5~0.6t

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
軽油	1.2号 パトロール給油	L	3			県単価・2020/10/01・104 CT6912
振動ロー(舗装用)	ハンドガイト式 運転質量0.5~0.6t	供用日				08-41-100-006-001 H39260T
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機-23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=3, [損料数量]=1.23, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 34 号 一位代価表 振動コンパクタ運転

前進型 機械質量40~60kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2020/10/01・労務1 CR0010
ガンリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2020/10/01・104 CT6910
振動コンパクタ	前進型 機械質量40~60kg	供用日				08-70-100-060-001 H39630T
諸雑費		式	1			#99
計	1日 当り					

機-23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [損料数量]=1.4, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 35 号 一位代価表 仕切弁きょう取付整備工

(底版使用)

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	0.04			県単価・2020/10/01・労務1 R0008
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1箇所 当り					

見積參考資料

単独基礎単価一覧表

2020年10月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0001	直流電源装置	DC60V-40A 単相200V S U S製	面	2,520,000	3		局独自
Y0002	低圧ケーブル	600V EM-CE 14mm2-1心	m	178	1		局独自
Y0003	低圧ケーブル	600V EM-CE 8mm2-1心	m	121	1		局独自
Y0004	低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5mm2-3心	m	281	1		局独自
Y0005	低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5mm2-1心	m	96	1		局独自
Y0006	電線	600V EM-IE 5.5mm2-1心	m	75	1		局独自
Y0007	ベルマウス	FEP用φ30	個	411	1		局独自
Y0008	設置棒	φ14×1,500	本	2,180	1		局独自
Y0009	設置棒用リード端子	φ14用	本	555	1		局独自
Y0010	鋼管ポール	6.3m(ボックス付属品含む)	本	110,000	1		局独自
Y0011	漏電遮断器	3P60AT 中性線欠相保護付	個	17,400	1		局独自
Y0012	輸送費		式	35,000	99		局独自
Y0013	通電電極設置工	材工共 MMO電極8本 PVDF14mm2-1心含む	式	4,993,180	99		局独自
Y0014	流電陽極設置工	材工共 マグネシウム合金陽極25本	式	1,761,250	99		局独自
Y0015	照合電極設置工	材工共 マグネシウム合金陽極4本	式	171,350	99		局独自
Y0016	ターミナル設置工	材工共 ターミナル3本	式	130,600	99		局独自
Y0017	波付硬質ポリエチレン管	FEP30mm	m	218	1		局独自

P-1

単独基礎単価一覧表

2020年10月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0101	SGPケーシング	φ150mm×5.5m	本	40,000	1		局独自
Y0102	VPケーシング	φ150mm×4.0m	本	22,000	1		局独自
Y0103	バックフィル		袋	350	1		局独自
Y0104	玉砂利		m3	16,000	1		局独自
Y0105	電極ボックス	φ600	個	145,000	1		局独自
Y0106	仮設工		箇所	212,000	99		局独自
Y0107	ボーリング工	φ250 150m 消耗材含む	箇所	3,422,720	99		局独自
Y0108	ケーシング設置工	雑材含む	箇所	89,450	99		局独自
Y0109	砂利充填工	消耗材含む	箇所	39,070	99		局独自
Y0110	バックフィル充填工	消耗材含む	箇所	64,450	99		局独自
Y0111	受電柱設置工	損料含む	箇所	84,500	99		局独自
Y0112	電極ボックス設置工	損料含む	箇所	32,500	99		局独自
Y0201	再生クラッシャーラン	RC-40 厚木地区	m3	1,320	3		局独自
Y0202	再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物(13) 厚木地区	t	9,750	11		局独自
Y0203	小型車割増(Ac)	厚木地区	t	1,200	11		局独自
Y0204	生コンクリート(早強)	18-8-25(20) W/C指定無し 厚木地区	m3	13,400	9		局独自
Y0301	ネットフェンス設置工	開閉式L=4000 材料費、基礎含む H=1800 金網φ3.2	式	602,600	1		局独自

P-2

単独基礎単価一覧表

2020年10月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0302	ネットフェンス処理料	処分費の対象	式	76,100	15		局独自

資 材 調 書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
VU直管 (硬質ポリ塩化ビニル管)	φ200*0.1~1m JIS K 6741	本	1			局独自 A0735
明示シート (鉄管類)	幅40cm 上下水道局に連絡して下さい印字	m	88			局独自 A1518
仕切弁きょう	短	個	1			局独自 A1841
仕切弁きょう鉄蓋	表示プレート対応型	個	1			局独自 A1842
仕切弁きょう台座	再生プラスチック 600*45	個	1			局独自 A1851
弁きょう表示プレート	プラスチック製	個	2			局独自 A1857
低圧ケーブル	600V EM-CE 14mm2-1心	m	69.7			局独自 Y0002
低圧ケーブル	600V EM-CE 8mm2-1心	m	99.9			局独自 Y0003
低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5mm2-3心	m	35.5			局独自 Y0004
低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5mm2-1心	m	9.35			局独自 Y0005
電線	600V EM-IE 5.5mm2-1心	m	1.21			局独自 Y0006

P-1

付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ベルマウス	FEP用 φ30	個	1			局独自 Y0007
設置棒	φ14×1,500	本	2			局独自 Y0008
設置棒用リード端子	φ14用	本	2			局独自 Y0009
鋼管ポール	6.3m (ボックス付属品含む)	本	1			局独自 Y0010
漏電遮断器	3P60AT 中性線欠相保護付	個	1			局独自 Y0011
波付硬質ポリエチレン管	FEP30mm	m	129			局独自 Y0017
SGPケーシング	φ150mm×5.5m	本	18			局独自 Y0101
VPケーシング	φ150mm×4.0m	本	13			局独自 Y0102
バックフィル		袋	138			局独自 Y0103
玉砂利		m ³	3.3			局独自 Y0104
電極ボックス	φ600	個	1			局独自 Y0105

P-2

付属 2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ネットフェンス設置工	開閉式L=4000 材料費、基礎含む H=1800 金網φ3.2	式	1			局独自 Y0301
〈一般資材(二次製品)計〉						+00
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L	328.86			県単価・2020/10/01・64 CT2209
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	23.05			県単価・2020/10/01・104 CT6910
軽油	1. 2号 バトロール給油	L	144.92			県単価・2020/10/01・104 CT6912
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木地区	m3	20.231			局独自 Y0201
〈一般資材(非二次製品)計〉						+00
再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物(13) 厚木地区	t	37.59			局独自 Y0202
小型車割増(As)	厚木地区	t	37.59			局独自 Y0203
〈As合材計〉						+00
廃材処理料(北部地区)	AS殻 処分費の対象	m3	15.1			県単価・2020/10/01・105 CZ0200-020

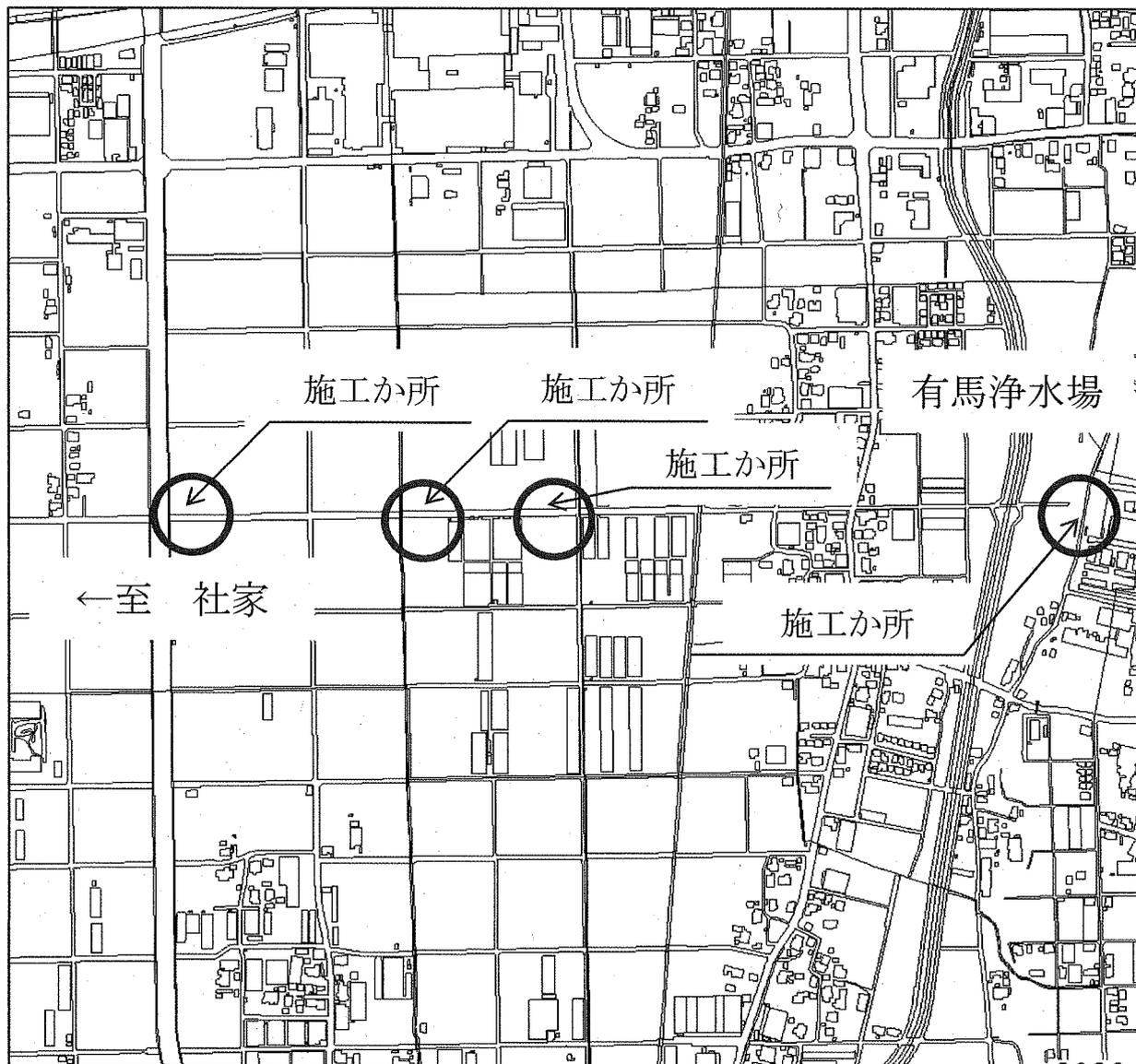
P-3

付属 3

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	アスファルト舗装版 処分費の対象	m3	0.246			県単価・2020/10/01・105 CZ0400-020
ネットフェンス処理料	処分費の対象	式	1			局独自 Y0302
〈処分費等計〉						+00
《二次製品計》						+00

P-4

位置図



工事名 : 有馬線導水管電気防食工事

工事場所 : 海老名市中河内1767番地先ほか3か所